



議会だより

北栄



国保税が3方式へ 2

町政 ここを問う 4

出前座談会 16

委員会報告 19

おどろ
「厳かに元旦祭」

子守神社（六尾）



<http://www.e-hokuei.net>

北栄町議会

検索



国保税算定が3方式へ

令和5年4月より

12月定例会を12月6日から20日までの15日間で開催。本年度補正予算8件、条例など5件の全13議案を審議し、全て原案どおり可決された。
 一般会計補正予算に9852万円追加し、総額は106億39338万円。主な事業はコロナ対策1022万円、道の駅北条公園再整備へ2815万円など。また職員の定年延長制度や、町民の約25%が加入する国民健康保険税の算定方式の変更などの条例が可決された。

条例の一部改正

国民健康保険税

問 長谷川 昭二

他町では激変緩和措置が3年なのに、本町は1年の理由は。

答 町長
 本町の国保積立基金は約7000万円。被保険者の負担だけでなく、基金を使った激変緩和措置は考えなかったのか。
 経済的弱者に負担を強いることのないよう引き続き検討を。

問 前田 栄治
 給食の賄い材料費が増えて

重した。

また答申には付帯意見で、令和6年度以降の税率は国保の財政の影響を検証し、県の示す標準保険税率を勘案しつつ、改めて判断することある。検証を重ね対応する。

いも園の自走式刈り機

問 斉尾 智弘

刈った芝を何度も刈り捨てにするのは、いくら短くても害が出るのでは。
 手遅れになる前に2〜3回刈ったら掃除すべきでは。

答 中原教育総務課長
 当面は刈り捨てでやってみたい。害が出る前に様子を確かしながら対応する。



これが便利なんです

一般会計補正予算

大谷いも園

問 前田 栄治

給食の賄い材料費が増えて

いるが、園児が増えたのか。最近の状況は。

答 中原教育総務課長
 現在21人。2人増えた。当初予算策定時よりも単価の高い3歳未満児の増加で賄い材料費は増額した。

B&G海洋センターの看板

問 野田 秀樹

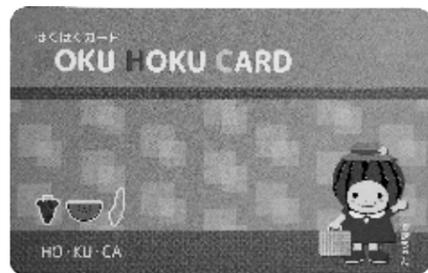
施設は町のランドマークであるのに、位置が分かりづらい。以前は外壁に大きな看板があったが、改修工事で外した経緯がある。利用者に見やすい看板にしては。

答 前田生涯学習課長
 この機会に、南北どちらからでも見えるようにしたい。

新型コロナ臨時交付金

問 油本 朋也

ほくほくカードに臨時交付金から付与されるポイントで生活支援というが、加盟店が近くにないカードを持たない人がいる。その人たちへの配慮は。



もっと使える店を

問 前田 栄治

北条地区は加盟店が少なく、カードで町指定のゴミ袋など身近な商品を買う店舗がない。カード以外の方法で、近所で交付金を使った買い物ができる環境整備を。

答 町長

今回は物価高騰対策と事業所支援の即効性と、カードの利用促進を目指した事業である。加盟促進やカードのない人への支援などは、これから考えていいたい。

議決結果一覧

条例	北栄町北条砂丘公園センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定	可決 (全会一致)
	北栄町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定	
	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	
	北栄町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	
補正予算	一般会計補正予算(第7号・第8号)	可決 (賛成10)
	国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	
	介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	
	農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	
	大栄歴史文化学習館特別会計補正予算(第4号)	
	水道事業会計補正予算(第1号)	
風力発電事業会計補正予算(第1号)		
その他	財産処分(由良宿と妻波の保安林)	可決 (全会一致)

今回の FOCUS

『国民健康保険税条例の一部を改正する条例』の制定について、賛・否が！

- 解説**
- ▶国民健康保険税の算定方式が、県内の将来的な保険税水準の統一化に備え、現在の4方式から資産割を引いた3方式に向かう。
 - ▶施行は今年4月からであるが激変緩和措置として、資産割の比率は令和5年度に半減され令和6年度に廃止。そこから条例の実質的な適用となる。
 - ▶それに伴って、他の所得割・均等割・平等割は増加することになる。

激論

反対討論

長谷川昭二

財源の不足分を所得割、均等割、平等割に割り当て、積立基金を活用することなく、被保険者の負担のみで補てんとすると、低所得層の資産を持たない被保険者には負担増になる。激変緩和措置を3年としている自治体もある。均等割、平等割を据え置き低所得世帯の負担増とならないようにすべきでは。

養原美百合

負担が増加する世帯もあり、住民生活は経済情勢、物価高騰、感染拡大などにより厳しい状況。激変緩和措置を1年ではなく延長するべきでは。

賛成討論

斉尾 智弘

過去には固定資産が多いことで所得も増えるという考え方があったが、近年、農地を管理する者が少なくなくなり、固定資産が保険税の負担能力を表すとはいえなくなってきた。



賛成議員

- 中山・河本・井川
- 尾嶋・野田・秋山
- 油本・斉尾・町田
- 阪本

子育て支援

3人目から増額を

町長 考えていない



前田 栄治

前田

①子育て世帯の移住定住を促進していく上で、働く場所の確保や小売店の出店が必要である。雇用を生む企業、日用品や食品などの小売店などに店舗してもらったための企画や誘致活動などとしては、
②今年度、出産に対しては、3人目以降の出産に付与した5万ポイントを付与したが、3人目以降の出産に対し、4人目、5人目と増額の祝い金制度を創設しては。

町長

①移住奨励金や若年層移住定住者住宅取得支援補助金など引き続き移住定住支援策を行う。
町の施策をしっかりと周知し、北栄町を選んでもらえるよう努力していきたい。
②本町独自の支援策である、5万ポイントの支給は継続していくが、3人目以降の増額は少子化対策への大きな成果につながると思えないため、実施は考えていない。



子育てするなら北栄町？

前田

①農業振興地域の見直しは、自治会にも希望を出してもらおうとあるが、どのよう
②砂丘地の畑地かんがい施設の老朽化による布設替えや維持管理費など、今まで以上の負担増になると、耕作放棄地が増えるので、国県町として早急に対策が必要である。見解と支援について伺う。

町長

①農地ごとの意見を反映することは出来ないため、個別の所有者への意向確認をする予定はないが、今後、2〜3年の間に予定があるものについての聞き取りは行う必要があると考える。
②国において西高尾ダムの水利を活用して砂丘地へ水を供給する検討が始まっており、町としても、関係機関と連携し、取り組んでいく。

農業委員会

①畑地かんがい施設は、多くが整備後35年以上経過し老朽化しており、更新の時期を迎えている。更新のための事業については、賦課金の負担を考えると事業に同意が得られず、受益面積の減、遊休農地の増が考えられ、砂丘地農業の維持が困難で、今後も町や関係機関と検討を続ける。

今後の農業 手遅れになる前に 町長・農業委員長 関係機関と検討

他の質問

▼来年度予算の目玉となる新しい施策は

町政 ここを問う

質問席

質問事項	質問者	ページ
子育て支援	前田 栄治	5
今後の農業		
マスクの着用	奥田 伸行	6
全国学力・学習状況調査		
少子化時代の子育て支援	齊尾 智弘	7
空き家と雑木対策		
障がい者の情報取得	蓑原美百合	8
ゴミの減量、資源化、適正処理		
義務的経費	秋山 修	9
まちづくりビジョン		
ドリーム農場の決算報告書	阪本 和俊	10
地域新電力の取り組み		
未成年者支援体制	中山 功一	11
自治体DX		
インボイス制度	長谷川昭二	12
国保税の算定方式の改定		
子育て支援と人口増	町田 貴子	13
危険樹木の伐倒を	野田 秀樹	
海岸浸食	尾嶋 準一	14
民生委員・児童委員	井川 敦雄	
高齢者の見守り支援	河本 文哉	15

12月定例会では13人の議員が
一般質問を行いました

サポート体制は

町長 支援プランの充実を

教育長職務代理者 リトルベビーハンドブックは県が作成



おとむら さい 斉尾 智弘

斉尾

婚姻や出生数が減少しているが、重要な少子化対策について以下の点を伺う。

①国からの妊娠・出産時の計10万円の経済支援策の給付方法は、この事業は継続されるのか。

②国が「子育てサポートプラン」を策定し妊婦を支援する体制づくりを目指す、本町の取り組みは。

③低出生体重児の成長を記録できる「リトルベビーハンドブック」の導入は。



成長の記録を

町長

①その交付金の給付方法は、まだ国から具体的に示されていない。事業は継続されると思われる。

②ネウボラが妊婦さんとの面談で個別に支援プランを作成している。さらに策定に必要な内容を追加して「子育てサポートプラン」とする。

教育長職務代理者

③今年度は県が作成し、病院を通じて配布される計画。町独自では作成しない。

*リトルベビーハンドブックは低体重で産まれた赤ちゃんのための、母子手帳のサブブック

着用は自由に

町長 適切な着用を

教育長職務代理者 配慮と着用の両立を



おくだ のぶゆき 奥田 伸行

奥田

①観光地としても評価される本町で快適に過ごしてもらいたい。マスク着用は自由という方法はないのか。

②子どもたちの心身の発達について、マスク着用は様々な見解もあるがどうか。

③マスク着用について、あるべき指導とは何か。

④教育委員会として町独自の方向性を持ってはどうか。



マスクどうする？

町長

①人との距離が2メートル以上あれば、マスクは必要ないと考える。

国、県の要請により、新型コロナウイルス感染症の第8波に加えてインフルエンザ感染が予想されることから、3密の回避、手指消毒の徹底に加えて適切なマスク着用をお願いする。

教育長職務代理者

②感染予防として感染経路を遮断する目的でのマスクの着用は有効。なお、成長期にある子どもの着用は、発育面への影響を踏まえることも必要。

③国のガイドラインが基本。熱中症予防や感情の伝達などの配慮すべき点と、マスク着用の両立を図りつつ指導する。

④町独自の方向性は考えていないが、今後も国の方針等に沿い対応する。

全国学力・学習状況調査

学校・家庭での取り組みは

一緒に進める

教育長職務代理者

奥田

①本町の学力についての分析は、平均正答率を下回った要因とこれからの課題は。

②学校や家庭での取り組みは。

③ホームページに掲載して、住民に周知することで、底上げをすべきでは。

④非認知能力を上げることによって、学びに向かう力を高めてはどうか。

教育長職務代理者

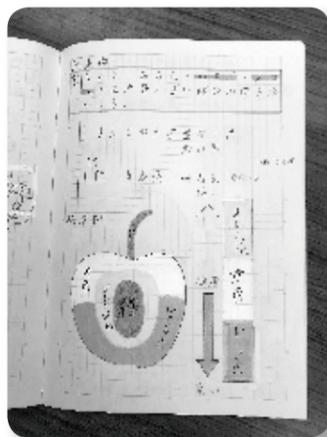
①小6では国語の「書く」「読む」、算数の「図形」「変化と関係」の分野に課題。中3では国語の「話す」、数学の「数学的説明」に課題を確認。

②読解力を問うリーディングスキルテキストの活用や「朝読書」などで読む力や読解力を培う。「チームティーチング」

や習熟度に応じたグループごとの授業など。

さらに、学習の前提となる生活習慣を整えることなどを家庭と一緒に進める必要がある。

③プライベートな部分も関わるのでそこも含めて検討する。



家庭学習が大切

空き家と雑木対策

どうする 空き家の管理

町長 所有者に要請

斉尾

空き家の現状について以下の点を伺う。

①老朽危険空き家除却費の助成件数は、令和2年度が10件、昨年度が6件で昨年度の空き家把握件数283件から見ると解消が進んでいない。対策は。

②危険空き家の除去率を上げるために、補助金の増額は。

③長年放置された空き家の、繁茂した雑木の苦情への対応は。

町長

①指摘の283件には適切に管理されている空き家が含まれる。町の対策は安心安全のためであり解消が目的ではない。

②10分の8の現行補助率は十分高く、これ以上の増額は困難。

③所有者に適切な管理を要請する。



このままでもいいのか危険空き家

他の質問

▼サツマイモを利用したバイオマス発電を

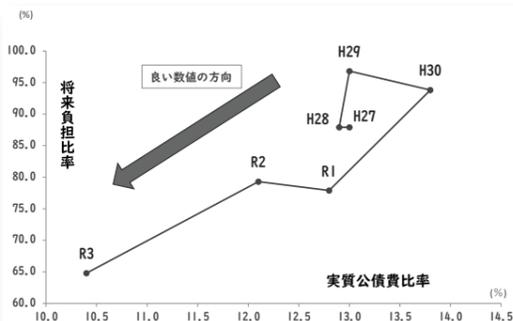
義務的経費

人件費の見通しは

町長 明言できない



あきやま 秋山 修



将来負担比率と実質公債費比率の推移

秋山 歳出の内、任意に削減できない硬直性が強い義務的経費の人件費、扶助費、公債費について以下の点を伺う。

- 1 人口減少に伴う職員の減少が見込まれるが、人件費の見通しは。
- 2 扶助費の今後の見通しと、福祉事務所の財源負担と設置の効果は。
- 3 公債費の今後の見通しは。

町長 ①職員は、今年4月時点で190人。人件費は、令和3年度決算では、18億6000万円。今後の見通しについては明言できないが、事業量等を見ながら、必要な人員配置を行う。

②扶助費は、令和3年度には、15億5000万円と過去最高額。少子高齢化で、今後も増加していく見込み。

福祉事務所の財源は、国庫補助金及び普通交付税により十分に措置され、住民サービスの向上につなげたい。

③公債費は減少傾向を維持するものとみています。

③公債費は減少傾向を維持するものとみています。

障がい者の情報取得

意思疎通できる環境整備を

町長 支援をさらに進めていく



みのほら 渡辺 美百合



円滑な意思疎通を

渡辺 「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション・シヨンプラン推進法」の施行に伴い以下の点を伺う。

- 1 障がい者が情報取得でき、意思疎通ができるようにすることが自治体の責務になったが、取り組み状況は。
- 2 聴覚障がい者が、災害時・緊急時等に情報を取得するため、文字表示装置等が必要では。
- 3 町の身体障害者協会が6月に解散となった。今後意見を聴く場はどうなるのか。

町長 ①意思疎通支援を担う人材（手話奉仕員）の育成。SNSでの情報発信等している。町の障がい者地域自立支援協議会で災害時対応研修、権利擁護研修等の取り組みをしている。

②個別受信機にプラスして文字情報を提供できる「文字表示装置」等を、他市町村の状況等を精査し検討したい。

③この法律の理念にのっとり、地域の実情に合わせて、情報の取得や意思疎通支援の取り組みをさらに進めていく。

成果の分かりやすい表示を

町長 負担が大きく行っていない

秋山 予算と決算に示される今年のごと、主要施策の成果の表し方について以下の点を伺う。

②3月に示された中期財政見通し数値と、9月に作成された見通しを比較したときの変化は。

町長 ①予算の将来像の実現に向けての効果、決算での成果をわかりやすく示すことは、ビジョンの進捗管理上も重要だと考えるが事務的負担が大きく、行っていない。

②令和8年度の基金残高が令和4年3月ではマイナスとなる見通しだったが、9月には3億8900万円のプラスに転じる見通しとなっている。



成果の分かりやすい表示を

ゴミの減量、資源化、適正処理

町長 ゴミ減量化の意識の高揚を

渡辺 4R（断る・減らす・使い続ける・再生利用）を理解し、ゴミの減量化、資源化が進められている。

- 1 資源化のため家庭用生ごみ処理機やコンポストの購入補助の検討は。
- 2 フリーマーケットの開催の検討は。
- 3 高齢者のゴミ出し支援は生活の質に関わる福祉的要素や見守りにもつながる。支援制度の検討を。

町長 ①家庭用生ごみ処理機 開催される場合は応援していきたい。

町は、「ゆずります・やコンポストの購入補助は廃止した。来年度から生ゴミの減量、資源化のために段ボールコンポストや生ゴミ処理器の周知を図る。

②町民や団体が主体的に

③他市町村の支援制度を参考に、法的・福祉・QOLの視点など踏まえ検討していく。



生ゴミの資源化を

他の質問

- 健康寿命延伸の取り組みは
- 認知症予防の取り組みは

未成年者支援体制

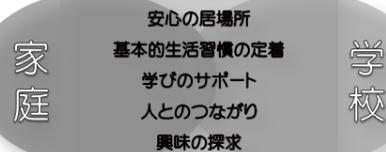
第三の居場所は

町長 課題が多い



なかやま こういち
中山 功一

未成年の包括的支援



未成年包括的支援

中山 ①「第三の居場所」を重層的かつ包括的な事業として、デザインし直して計画する必要があるのではないか。
②学びの場として提供できれば、新しい居場所になる。家庭がすべき役割の部分に対する支援も必要と考えるが、どうか。

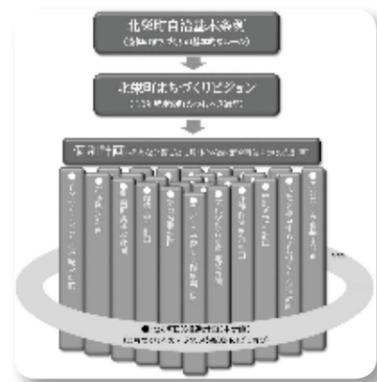
町長 ①検討し直しているが、課題が多く、見通しが立っていない。対象者の設定や支援内容の選択により、事業内容は大きく変わってくると考えており、これらの点を踏まえて、検討を行っている。
②第三の居場所を日中の学びの場の一つとしてまでは考えていなかったが、検討する。家庭がすべき役割への支援についても、事業ニーズを確認し、運営面で無理を生じさせず、持続可能な事業とすることを前提に、どこまで実施可能なか検討する。

町長 ①町民のみなさんの利便性やまちの価値の向上を第一に、経費の削減についても、その前提の中

中山 ①DXによって目指しているものは何か。町民にとっての益となるのか。
②DXの前提となる改善が必要な課題の洗い出しはできているのか。
③RPAの実績・成果の検証結果は。
④今後どの分野においてDXを推進しようとしているのか。
⑤遂行のために必要な人材確保、人材育成は。

自治体DX 目指しているものは 町長 町民みなさんの「益」

で考えていく。
②副町長を*CIOとするプロジェクトチームを設置し、各課とのヒアリングの中でやっている。
③現在、効果の検証を行っている途中であり、効果が低ければ運用を中止する方向。
④北栄町まちづくりビジョンの項目に沿って行政のDX、地域のDXに
*CIO 最高情報責任者
分け、12の項目を設定し、推進を行う。
⑤CIO補佐官として、民間人材の活用を行っている。今後、具体的項目の検討が進んでいくに伴い、引き続き、職員の研修、外部の複業人材の活用などを行っていく。



北栄町DX推進計画

ドリーム農場の決算報告書

経営実態が見えない

町長 取締役会で相談



さかもと かずとし
阪本 和俊

第6期決算公告 令和4年2月11日
取組推進部北栄町農政課1755-1
株式会社 北栄ドリーム農場
代表取締役 手嶋 俊樹

貸借対照表の要旨 (令和3年7月31日)

科目	金額(千円)
流動資産	14,518
固定資産	58,751
合計	73,269
流動負債	6,600
固定負債	23,558
株主資本	43,112
資本金	60,000
利益剰余金	△16,888
その他利益剰余金 (うち当業損損失)	△8,707
合計	73,269

ドリーム農場決算公告 (毎日新聞より)

阪本 ①町長の「取締役兼務が、法律違反にあたらず経営責任を問われない」という発言の根拠となる「特例法」とは、どのような法律か。
②決算報告書では経営が順調に見えるが、地域おこし協力隊の人員費などが計上されていないため、会社の正確な経営状況が把握できない。経営実態が一般町民に理解しやすい工夫を。

町長 ①これまで「特例法により責任を取らなくてもよい」と答弁を行った事実確認が取れないので、回答できない。
②地域おこし協力隊の人員費は、地域を元気にしたいという総務省の提案で国から支払われる特別交付税であり、町はそれを有効に活用している。決算書の記載方法は取締役会で相談する。

町長 ①この事業は脱炭素と地域内経済循環を目指すための、重要な手段と考

阪本 ①出資が事業者と3町の予定であったが、湯梨浜町は見合わせている。対応は。
②火力発電所の停止による電力不足で市場価格が高騰し、電力卸売市場からの仕入れに頼っていた小売事業者の撤退や倒産が相次いだ。大手電力会社の電力購入規制の報道もあり、電力小売り自由化に逆行し、ハイリスクでは。

地域新電力の取り組み ハイリスクでは 町長 悪影響は回避できる

えている。他町の出資に関係なく、取り組みを推進する。
②県中部に新設した地域新電力会社「鳥取みらい電力」は電力卸売市場に頼らず、相対契約による仕入れを検討しているため、急激な市場価格の高騰による経営への悪影響は回避できるようになっている。



電力の地産地消

他の質問
▼青山剛昌ふるさと館の新築・移転は

思い切った施策を

町長 移住定住で人口増

教育長職務代理者 地域全体で子育てを



町田 貴子

町田

近年、出生数の減少で確実に少子化が進んでいる。以下の点について町長の英断を期待する。

- ① 妊婦、出産後の子育て支援の相談体制の整備。
- ② 町全体での地域における子育て支援の仕組みづくり。
- ③ 出産祝い金の増額、保育料、給食費の無償化、保育士の増員などの北栄町独自の思い切った施策で、おのずと人口増につながるのでは。



思い切った支援で人口増

町長

③ 移住定住で頑張っている。北栄町にいられた若い世代の方が、子どもを生んで人口が増えるようになればいい。

教育長職務代理者

- ① 妊娠期から出産後に至るまで、ネウボラが中心的な窓口として相談受付。
- ② 地域全体で子どもを育てる意識が広く浸透していくことも必要であり、意識啓発も考える。
- ③ 町独自に保育士を増やす努力はしているが、なかなか、なり手がいないことが一番の課題。

免税業者への対応は

町長 除外する考えはない



長谷川 昭二

長谷川

① 自治体から免税事業者などに依頼されてきた取引では、事業者側（学校給食の食材を納入している生産者など）がインボイスを発行できないことを理由に取引から除外される恐れも指摘されている。本町の対応と地域の事業者（シルバー人材センターで働く人など）への影響は。

② 国に対しインボイス制度実施の中止の要請を。



シルバー人材センターからの要望

町長

① 総務省の見解もあるので、インボイスを発行できない免税事業者を除外する考えはない。

シルバー人材センターへの対応は現在国で検討をしているが、会員の消費負担増を危惧しており、状況を注視。負担に耐えられないように県や国に対応したい。

② 本町単独では相当困難。仮に要請するとしても、他の市町村や県などと制度実施の問題点を検証の上、一体的に取り組む必要がある。

長谷川

① 国保税の算定方式の改定によって、低所得世帯で負担増となる試算が示された。年金収入の減少や物価高騰などで困窮を極めている人への負担軽減策として給付金を支給しては。

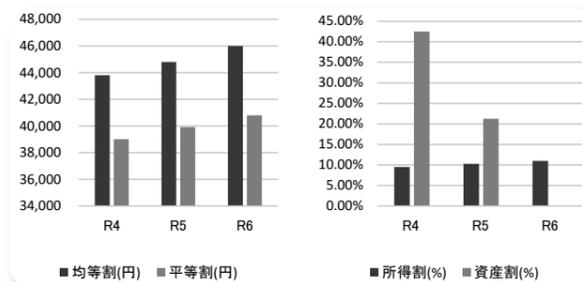
町長

① 改定により低所得者層は減額となる世帯が多いと試算しており、公平な税負担の見地からむしろ、要望していききたい。

② 18歳未満を対象とした給付制度及び均等割、平等割の負担軽減は、国で制度化に向けて取り組んでいただくよう、今後も要望していききたい。

他の質問

▼ 中学校入学時の負担軽減と部活用具等購入補助金制度の創設を



国保税負担の推移

国保税の算定方式の改定

負担増世帯への軽減策を

町長 国での取り組みを今後とも要請

危険樹木の伐倒を

倒木の前に

町長 県補助での対応を検討

野田

町道や広域農道沿いの樹木が繁茂し、老木も目にする。強風や積雪により倒木し、度々通行止めになる。今までは通行車両に被害はないが、防災の事も考え危険個所だけども事前に町で伐倒できないか。また、道路わきには私有地もあるが、個人では伐倒が無理。

町長

緊急時には、町で対応するが、基本的には個人や自治会で管理をしていただきたい。しかしながら、災害復旧の費用に比べ事前に災害防除整備をしておけば安価でできるため、

県の補助金でどこまで対応できるか検討する。そして、自治会等による情報をいただき防災に努めたい。全国の例も調べてみて、対応できるものにしていく。



野田 秀樹



通れんけど

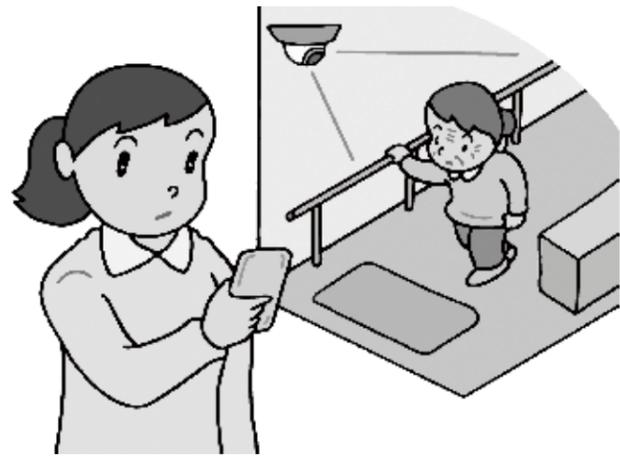
高齢者の見守り支援

人感センサーが必要では

町長 利用も可能



かわもと ふみや
河本 文哉



手厚い見守りを

河本 ①介護と仕事の両立が難しい家庭への支援はどういうものがあるか。
②町が提供する見守りサービスの利用率はどうか。
③緊急の場合のために人感センサーが必要ではないか。

町長 ①地域包括ターで相談を受ける。
②70歳以上の一人暮らしの高齢者が786人で、その内、見守りサービスの利用者は10名。利用率は1・3%。
③人感センサーは緊急通報装置のオプションサービスで利用できるが、利用料は個人負担となる。

海岸浸食

コンクリート壁を

町長 サンドリサイクルで対応



おしま じゅんいち
尾嶋 準一



消えた砂浜

尾嶋 海岸浸食は県内の至るところで発生しており予算が取れない状況と聞いている。冬になれば、波が高くなり松林のほうまで砂浜を削り取られるところもある。その部分だけでもコンクリート壁がでないか。

町長 県は検証データをもとに、背後に守るべき住宅等の緊急性の高い所との調整を図っている。管轄する県は、必要に応じてサンドリサイクルによる対応を行っている。コンクリート壁のような構造物は、隣接区間の浸食がさらに進行する傾向にあることから、近年、鳥取県では設置されていない。

追跡 あの質問はどうなった?

【令和4年6月定例会】
「補聴器購入に助成を」

問 【長谷川議員】
・加齢性難聴は鬱や認知症の一因との指摘が。
・低所得の高齢者に非常に高額な補聴器の購入に助成を。

答 【手嶋町長】
・認知症の発症リスクを減らすため、高齢者の補聴器購入の助成を具体的に検討する。

↓
令和4年7月臨時会で予算化決定
国からの新型コロナウイルス臨時交付金事業で
30,000円を15人に（購入費の1/2、上限30,000円）



耳かけ式補聴器



いかわ あつお
井川 敦雄

井川 民生委員・児童委員の現状と課題について以下の点を伺う。
①任用の仕組みは。
②活動状況は。
③担い手を確保するために、負担軽減や協力員制度を導入しては。
④高齢者、認知症の方が増えている。ボランティア精神に頼るだけでなく活動費の増額を。

町長 ①自治会推薦を受け、町や県の審議を経て厚生労働大臣が委嘱。
②地域と関係機関への「つなぎ役」。毎月開催の民生児童委員協議会への参加。
③協力員制度の導入については町が調査したり、民生児童委員協議会等から要望があれば検討する。
④県より活動費は委員は年額6万2000円。会長は7万2120円。町より活動費は委員は年額4万4000円。会長は5万9000円をお願いしたい。



大事な「つなぎ役」

民生委員・児童委員 サポート体制の充実を

町長 要望があれば検討

「議会出前座談会」

令和4年度の議会活動の報告と町政全般について町民の皆さんと意見交換を行う「議会出前座談会」を6自治会で開催し、69名の方に参加していただきました。

西園（参加者14人）

問 北栄町をどうしたいのか。

答 にぎやかで活力のある町にするために人口を増やしたい。

問 災害のない町。中学生までの医療費無料。副業・フリーランスなど働き方を増やしたい。

問 国保税の資産割の廃止はしないのか。

答 町は資産割の廃止について検討している。
※資産割の廃止が決定。（2〜3ページに記載）

問 人口減少と高齢化で農業でも働き手が足りなくなっている

答 が、どうすればいいか。
新規就農者への補助金などの制度を利用して、Uターン、Uターンを含めて若い農業従事者を増やしていきたい。

問 税金が高く宅地も十分になければ、移住したい人はいないのでは。

答 なかなか進まなかった農業振興地域の見直しが来年終わるので、宅地についても詰めていきたい。

問 「あつまらいや北条」とは。

答 合併後、北条地区を盛り上げるために、子どもたちも集まれるような団体として結成された。



西園自治会

問 北条小学校の向かい側に廃屋があるが、放置したままではないのか。

答 個人所有なので勝手に処分は出来ない。

西新田場（参加者7人）

問 少子高齢化が問題。

答 人口減少を緩やかにすることが課題。住みよいまちづくりはどこにお金を使用するか。

問 移住奨励金、空き家活用補助事業、婚活事業等で取り組んでいる。

江北（参加者14人）

問 大腸がん検診の検体保管用のクーラーボックスは、全自治会に支給されたのか。

答 温度管理を徹底するため、全自治会に配布された。

問 新築移転が計画される「青山剛昌ふるさと館」は、「名探偵コナン」に特化すべきでは。

答 本年度当初予算で移転に関する基本計画委託料を3000万円計上し、検討委員会で現在話し合いが進められている。

困っています

1 公民館から県道320号線までの道路は、バス停に向かう高校生たちが利用する。町の除雪車が公民館付近に来た際にその区間の除雪も希望する。

2 公民館の南側に新築の家屋が増えている。しかしその付近は農道で砂利道であり、降雨時にはぬかるみができ歩きづらい。幅員が4mあれば、

問 議員報酬はいくらか。議員の姿が見えないが、もっと見てまわって。

答 議員22万4000円（月額）。4年毎に定数、報酬を見直している。調査特別委員会を設置した。今後しっかりと皆様と議論していきたい。

問 海岸浸食に実効性のある対策を。

答 海岸は国の管理、国や県に町として要望していきたい。

問 国保税が高くなっている、予防が大切だが取り組みは。

答 健康寿命を長くすることが大切。検診の受診率向上や適切な体操の実施等。

問 風力発電事業は今後どうなるか。

答 F-I-T終了に伴い、町は撤退すると宣言している。

問 現在はJ-R東日本エネルギー開発(株)が、西園から国坂付近に設置を計画している。

町道でも農道でも地方交付税は入るはず。新しく住む人のためにも舗装を希望する。

3 畑かんの更新時期に入るが、高齢化や後継者がいないため脱退するにも、カネが要る。砂丘畑の農業振興地域の見直しをして欲しい。

4 ほくほくカードが使える店を増やして欲しい。

問 由良宿2区（参加者13人）

問 下水道に未接続の世帯への働きかけはどうしているのか。

答 下水道維持もあるが環境の面でも大事なので、しっかりと勧奨している。

問 北条の道の駅はほとんど出来ているが、大栄の道の駅は将来どうなるのか。

答 具体的にはまだだが、整備の必要があるというのは町長も議員も共通認識になっている。



由良宿2区自治会

問 「北栄町民間診療所新規開設継承支援募金条例」を作ったというのだが、どのような対策をされているか。

答 誘致活動を継続するため、この基金があればスピーディーに動ける。北条地区も医師の高齢化で医院がなくなる問題に直面しているので、医師の確保に強い思いもある。

問 ふるさと館と中央公民館大栄分館の建て替えは、どこいうところですか。

答 ふるさと館は検討委員会で、大栄分館は「ほくほく未来ラボ」で検討されているが、結論に至っていない。

困っています

1 コロナ禍で学校もオンライン授業もあり、インターネットは、安い料金で通信速度の速いものがよい。子育て支援で考えてほしい。Wi-Fi環境も整えてほしい。

2 町の配布物が多く負担。もう少し減らせないか。



江北座談会

委員会調査報告

土下（参加者15人）

問 委員会活動が「なしなし」と資料にあるが、どんな活動をしているのか。議決だけでなく、町の課題を委員会で提案する動きがあつてほしい。

答 鳥取中央育英高校の再編問題で同窓会との意見交換や、県外視察をしている。※(19ページに記載)

問 今、共助交通が広がっている。行政ではどういう動きになっているのか。

答 町では講演会、調査研究の希望者への説明会を行っている。同時に社会福祉協議会がリードしてやっている。

問 ふるさと納税がどんどん増えているが、その推移は。また、納税額に対する返礼品の程度は。

答 令和3年度で7億5300万円。去年の後半では前年割れだったが、梅雨明け頃から前年比増なので順調である。返礼品は寄付額の3割までとされている。



土下自治会

困っています

1 柿の生産者はイノシシに枝を折られ実を取られる被害を受けている。行政が、座談会のように鳥獣被害に絞って住民、農家を集め、支援策を示して対策を考えてほしい。

2 土下山の町道脇の草木が繁茂し道を覆う様になった。風雪で倒木もあり自治会の草刈りだけでは通行の安全が確保できない。

水害時の避難路としての役割も考えられるので、町の伐採を要望したい。また、周辺の地権者に管理を促す通知をしてほしい。

駅前（参加者6人）

問 5月の臨時議会に改正された町職員の期末手当の減額について、どういう事か。減額分をどうするのか。

答 人事院勧告によるもので、何か他に必要なために減額するものでない。

問 「北栄町民間診療所新規開設継承支援基金条例」の制定はどこか決まったところがあつての制定か。

答 予定している医療機関又は医師があつての制定でなく、新規開設を促進するため。

問 下北条駅が無人駅になってから、周辺が荒廃し自治会でする管理にも限界がある。何か良い手立ては。

答 JRより駅舎を町に譲りたいとの打診があり、現在検討中。今後の話し合いに自治会も参加されるのが望ましい。



駅前自治会

問 大栄地区が過疎地に認定され過疎債が利用できるが今後何に利用するのか。

答 今後行う事業で多額の費用を必要とするものに対して、有利な借金ではあるが、借金には変わりない。

問 間もなく町営の風力発電事業が終了します。それに替わり、JR東日本が新規に計画をしている。ようだが、町にメリットはあるのか。

答 利益のいくらかを町に還元するとの話がある。

総務教育常任委員会

令和4年10月25日（火）～27日（木）

調査結果

(1)秋田県「横手市増田まんが美術館」

【リニューアルの経緯・財源】
漫画家、矢口高雄氏より、マンガ原画の保存と活用に向けた施設、アーカイブ機能を有するまんが美術館とするなら自分の全原画を寄贈するとの提案があり、2017年から2年間かけて改修。総事業費8億7500万円、県交付金2億円、国地方創生交付金1億2900万円、他に合併特例債、一般財源。

【取り組み】

指定管理者「一般財団法人横手市増田まんが美術財団」を設立しアーカイブ事業に取り組み。原画アーカイブで多くの人がコミュニケーションを図り、教育、楽しみ、考察と知識の共有で新しい気づきや学びにつなげている。

(2)宮城県石巻市「石ノ森萬画館」

【経緯・財源】
1995年、石ノ森章太郎先生に当時の市長が「マンガによる町おこし」を要請し、1996年、市は「石巻マンガランド基本構想」策定。総工費19億円、一般財源から5億円。

【取り組み】

第三セクター「株式会社街づくりまんぼう」を設立し運営。萬画館を核とした街づくりのため、市街地の賑わいの創出や関係人口・交流人口を増やすことによる地域の活性化を中心に、事業を進めている。街づくりまんぼうの取り組みの中で、地域の人材育成を行っている。

(3)宮城県仙台市「若林区荒町市民センター」「青葉区中央市民センター」

【取り組み】
「仙台市公共施設総合マネージメントプラン」に基づき、周辺に存在する公共施設の複合化を計画している。若林区荒町市民センターは、児童館、防災センター併設。青葉区中央市民センターは、市の中心部で交通の便が良いため、若い世代から高齢者まで昼夜を問わず利用率が高い。国際交流の場としても利用。

提言

(1)「青山剛昌ふるさと館」へ多くの人に来ていただくには、子どもたちの作品を募集するなど、様々なアイデア、工夫や相当の努力が必要である。
(2)本町で複合施設を考える場合、何と何を複合化させることが町民のためになるのか今後のまちづくりプランとあわせて検討が必要である。
(3)安心安全のためにも大栄の放課後児童クラブは小学校の近くが良いのではないか。

民生経済常任委員会

令和4年10月5日（水）～7日（金）

調査結果

(1)北海道ニセコ町

【SDGs 未来都市】に選定された町における持続可能なまちづくりの取り組み
2001年、全国初の自治基本条例「まちづくり基本条例」を制定。また、環境モデル都市・SDGs 未来都市に認定される。町の「予算説明書」を町民へ無料全戸配布し情報を共有するとともに、住民が行政に参加している。また、予算編成にも「財政民主主義」のもと、主権者たる町民が主体的に財政に関わっている。

現在、現場職員の半数は民間人からの中途採用で、その道のスペシャリストを集めた。（現在職員の5%は外国人）
「環境モデル都市」、「SDGs 未来都市」に選定されるも風力発電は景観に配慮して、メガソーラーは森林伐採や急傾斜地設置等による危険度を考慮し、計画しないという結論を導き出している。

(2)北海道下川町

【SDGs 未来都市】及び「自治体SDGsモデル事業」に選定された町における持続可能なまちづくりの取り組み
町の約9割を森林が占め農業、林業、林産業が基幹産業。1970年代から急激な人口減少が始まり、「地域消滅危機」に陥る。

1980年代半ばごろより、「地域活性化活動」による挑戦（知恵、工夫、行動）により、人口減少が緩和された。現在の人口は、約3000人まで減少しているが、国から「環境モデル都市」、「環境未来都市」そして、「SDGs 未来都市」の選定を受け持続可能な地域社会の実現に向けて、経済・社会・環境の3側面の価値創造、総合的解決に取り組んでいる。

20年以上前からSDGsに取り組み、町の面積の約90%を占める森林を活用するため、60年サイクルを確立した循環型森林経営を行っている。

提言

(1)北栄町も職員を採用する際には、即戦力のスペシャリストをヘッドハンティング等により、中途でも採用すべきでは。行政側、あるいは議会だけでなく、町民の意識改革も大いに必要と思われる。
(2)北栄町も、将来の状況、状態を想定し、そのためにはどのようなハード、ソフトを含めたインフラ整備が必要か、町民とともに考え、実行すべきでは。



我がまちの宝



左から順に

すぎかわ 杉川 優奈さん (年長)
 さわづみ 澤住 柁哉さん (年長)
 なかはら 中原 京音さん (年長)
 つかもと 塚本 迅さん (年長)
 (大谷こども園)

たむら 田村 幹雄さん (右) (64歳)
 たむら 田村 美智恵さん (左) (64歳)

(米里)



4月から頑張りたいことを聞いてみました。
 優奈さん「ひらがなでなまえかく」、柁哉さん「さんすう」
 京音さん「こくご」、迅さん「しゅうじ」

米里地区干し柿生産組合のメンバーです。
 この度、「食べるJAPAN美味アワード2023」において「干し柿ギフト箱8個入り」で準グランプリを受賞することができました。

知っとななる?こんな北栄

栄財産区

昭和30年に栄村が合併で大栄町になった時に、利益を旧栄村に残すため村有林をそのまま継承して設置された、西高尾・東高尾に広がる43.3㌔の山林や畑地。

その一部に栗を植樹し1本1000円でオーナーを募集。好きな時に収穫できるようにしていたが、昨年は10月に1日限定の収穫量制限のない無料イベントに変更。すると約90人の参加で開始から2時間で栗がほとんどなくなってビックリ！今度はどうなるでしょう。お楽しみに。



議会だより第62号 優秀賞をいただきました

第30回鳥取県町村議会広報コンクールで優秀賞を受賞しました。

「見出しがうまい。読ませたいという意思を感じる」「高校生議会や、アポなし突撃インタビューなどの取り組みも工夫がみられ、全体に見ごたえがある。」と審査員から高い評価を受けました。

編集後記

今年もコロナ禍のうちに、新年を迎えました。感染者数も日々増減を繰り返していますが、今だ終息は見えません。それでも条件付きながら、自治会や町の行事も少しずつ再開されています。年明けの、令和4年度の高校生議会は、白熱した議論の中、無事終了しました。将来、彼らの中から議員が誕生するかもしれません。

1月には、近年に無い記録的な大寒波に見舞われ、みなさんも、除雪に汗を流された事と思います。広報委員も、時には暴風雪の中集まり、実のある読みやすい内容にと、熱の入った編集作業をしました。多くの方々に読んで頂きたいです。この議会だよりが発行される頃は、もう春がそこまできている事でしょう。(樹)

- 発行責任者 津川 俊仁
 編集 長 中山 功一
 委員 長 油本 朋也
 委員 長 河本 文哉
 委員 長 菅原美百合
 委員 長 野田 秀樹
 委員 長 長谷川 昭一